

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

【原本】FAIクラブの株式投資法

FAI VOL.3
林 輝太郎

はじめに

F A I 投資法は、30項目のルールによって定義されている。これを見て、「行動がすべて決められている」「システムトレードみたいなものだ」と考える人もいる。だが、そういった捉え方は誤りだと、本書の読者を相手に、あえて断言しておきたい。

株式投資にまつわる情報をみていると、さまざまな分析によって割安株が示されることは多いが、残念なことに、最も重要な「株価変動」という要素を置き去りにしたものばかりだ。

400円の銘柄がストップ高すれば80円幅、つまり、わずか1日で2割の変化がある。もっと安い200円の銘柄でもストップ幅は80円だから、1日で4割の変化があり得るのだ。実際の株価変動は、ちょっと理屈を並べただけでは説明できないシロモノなのである。

そんな“浮世離れ”した株式市場について、トレードを生業とするプロたちの心の底にあるのは、「相場は、上がったたり下がったりだ」という程度の、実に“身もフタもない”ほどボヤッとしたイメージでしかない。株価に対して一定の理論を持ちながらも、対応力と実行力、平たく表現すれば「えいやっ！」と行動してしまう瞬発力が大切だと認識しているからだ。

F A I 投資法のルールも、事例を挙げて説明すれば納得できるものばかりだが、現実には決断を迫られた場面で「今日買うのか、明日買うのか」を明示してくれるものであるはずがない。

銘柄の選別においても、人によって“目”が異なるから、良い悪い、やるやらない、がシステムティックに決まることはない。

ちまたのトレード情報の多くは“必勝法”的な宣伝をするだけで、上記のような現実の問題を煙に巻いている。それに対してF A I投資法は、多くの月足チャートを描いて研究すること、経験を積んで精度を高めていくことなど、実行する個人が労力をかける姿勢を真っ向から示している。そこに、大きな価値があるのだ。

買いに有利な銘柄を、数多い上場銘柄の中から選別する——こんな取り組み方を輝太郎は、以前から否定していた。いかにも素人が行う“銘柄発掘”は、盲点だらけで成立しないと考えていたのである。

その輝太郎がF A I投資法に出会い、自らの考え方を改めた。「素人くさいようでいて、実に合理的かつ実用的にまとめられている」と。これが、F A Iクラブの発足、「研究部会報」での連載、そして輝太郎自身も本腰を入れて売買し始めるきっかけとなった。

F A Iクラブの発足は1984年だから、バブル相場がスタートする、いやスタートしていたといってもいい時期だった。つまり、底上げ相場が始まるタイミングだったのだ。原則どおりに月足の形をみて、ファンダメンタルの状況をチェックすることで、選定する銘柄は軒並み、期待どおりの上昇をみせたのである。

だが、振り返ると、発足から89年末の大天井までの5年間こそが大切な時期だったと思う。相場では生々しくカネが増減するため、つい刹那的、近視眼的になる。利益が出れば出るほど、心はゆるみ、一方で運用資金は膨らむのだから、完成度が上がったという気持ちとは裏

腹に、幾何級数的にリスクが増大していくのだ。

だから、F A Iクラブの活動では、「ブレずに進んでノウハウの真の完成度を高める」ことが重要な目標だった。毎月の「例会」を欠かさずに開催し、討論を重ねながらクラブの運営を続けたのである。

その最大の成果といえるのが、89年の天井を見通したことだった。偶然の要素だって否定できないから、ことさら持ち上げて伝説化しようとは思わないが、88年夏の上げ相場で警戒論を発し、それ以降は新規の買い銘柄をいっさい選定しなかったことは、結果的に大当たりだったのである。

その後、ご存じのとおり、長く大きな下げ相場があったが、ジッと沈黙を守って買い銘柄を選定しなかった。完全な下げ基調の中でも物色されて上伸する銘柄はあったが、ムリに買い戦略を展開するのは危険、下げ切るのを待つ、もしくはカラ売り、という見通しを貫いた。

結局、2000年3月に再び3銘柄を買い選定するまで、10年以上にわたって銘柄を選ぶことなく活動を続けたのだ。もちろん、毎月の例会は休まずに行った。参加者が少なくて世間話に近い情報交換に終始することもあったが、同じことを同じように淡々と続けることを是としたのである。

こういった姿勢こそがF A Iクラブメンバーを刺激し、一人ひとりの積極性を生んでいると思う。

1984年の発足以来、東日本大震災の翌日のみ臨時で中止した以外は、30年を超えて欠かさずに例会を開催している。その中で、京都から毎月、7年間休まずに参加しているメンバーもいるほどだ。

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

ちなみに、例会後にメンバー向けに発行する「F A I 通信」は、林投資研究所の定期刊行物「研究部会報」に掲載しているし、同じく会報誌には、選定銘柄一覧だけでなく、新しく選定した銘柄の月足解説や、関連する読み物、F A I 投資法を実践するための資料なども掲載している。

例会における意見交換では、ルールそのものについて議論することもある。軽々しく変更するものではないが、常にいろいろな可能性を考える姿勢が望ましいから、個人的な感覚を基に疑問が提示されることは大歓迎なのだ。どんな意見でも、みなが真剣に受け止めてやり取りする——これこそが投資クラブとしてのあり方だと考えている。

そして、2000年の選定再開を機に、ファンダメンタル分析に関するルールを少し変更した。高度成長期とは異なる厳しい経済環境に対して、倒産リスクを計るチェック項目を少しだけ追加し、専門的な企業分析の知識なく絞り込みを強めたのだ。2008年には再びルール改正の議論を行い、単純な並べ替えを含めていくつかの点を改正した。時代とともに変化する環境に合わせて進化させる試みである。

だが、そもそもF A Iのルールは、前述したように、極めて実践的な示し方をしているものの、システマティックな行動を定義したものではない。

売買のルールというものは、たとえ売り買いを細かく定義していたとしても、それを正しく理解して実行する者の力量が問われるのは当然だ。こうした現実を直視しながら経験を重ね、根幹のルールにも若干の追加や削除を行って現在に至っている。

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

とはいえ、F A I投資法の骨子は、いささかも変わっていない。主には人気量の減少によって低位に甘んじている銘柄を見つけ、月足によってトレンドの転換点を見つけようとする、実用性の高い考え方である。また、ファンダメンタル分析をあわせることで、いわゆる“安かろう悪かろう”の銘柄が見直されて大きく上伸する動きも狙うのだ。

どちらにしても、「下値不安が少ない」ことが最大の優位性であり、株式市場の基本的な構造が変わらないかぎり、普遍的な価値をもつ手法だと断言できる。

その原点が、この本にまとめられている初期の連載であり、ルールに若干の変更があったとはいえ、いや、時代とともに変更を加えたからこそ、F A Iクラブメンバーを含めたF A I投資法実践者にとって、価値ある情報だと確信する。

長く述べたが、読者がこの手法のあり方を受け止めて実践経験を積み、「確信ある自分流」に昇華させ、成功することを願う。

2016年 9月 林 知之

目次

【原本】 F A I クラブの株式投資法 VOL. 3

はじめに 1

第 1 章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1984年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1984 年 3 月～7 月 34

- 1. 3～6月の買い銘柄および注意銘柄 34
- 2. 7月の買い銘柄および注意銘柄 38

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1984 年 8 月 39

- 1. 8月の買い銘柄および注意銘柄 39

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1984 年 9 月 41

- 1. 9月の買い銘柄および注意銘柄 41

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

2. グラフについて	43
3. データスリップについて	43
4. F A Iクラブ正式発足予定について	44
F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄	
1984年10月	45
1. 10月の買い銘柄および注意銘柄	45
2. 10月20日の研究会	46
3. 東海地震対策	46
4. 業績チェックリスト	46
5. 73歳で1億円達成	47
◎ F A I 選定銘柄リスト	
1984年10月	48
F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄	
1984年11月	50
1. 11月の買い銘柄および注意銘柄	50
2. オブザーバーとして出席希望の方	51
3. 低位株の安全性についての疑問	51
4. 30年間で最も効果があった	51
5. 二部注意銘柄	52
F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄	
1984年12月	53

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

1. 12月の買い銘柄および注意銘柄	53
2. 1984年は低位株が動いたが……	54
3. 1985年はF A Iの初年度	54
4. 低位株の動きの統計	54
5. 専門研究について	55
6. メンバーの定員について	55

F A I 注意銘柄グラフのコピーと データスリップのコピーについて

1. 注意銘柄全部のコピー	56
2. データスリップのコピー	57
3. 14銘柄上昇率は平均213%（場帳頒布について）	57

第2章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1985年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄 1985年1月	62
1. 1月の買い銘柄および注意銘柄	62
2. 暴落に対する準備を怠るな	63
3. 低位株の調査に協力を	64
4. 新しい銘柄選定委員を募集	64
5. コンピュータをお持ちの方へ	64

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985 年 1 月 65

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985 年 2 月 67

1. 2月の買い銘柄および注意銘柄 67
2. 名古屋式早い売買の有利性 68
3. F A I は実行する会 68
4. 新しい銘柄選定委員 69

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985 年 3 月 70

1. 3月の買い銘柄および注意銘柄 70
2. F A I クラブは実践する会 71
3. 総会における体験発表について 72
4. 注意銘柄、○印、◎印について 72
5. 会報3月号「データおよび作業順序と売買について」... 73
6. 24銘柄「特訓グループ」の方へ 73
7. メンバー名簿発行延期について 74
8. どんな相談でも遠慮なく 74

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985 年 3 月 75

データスリップの作り方および

F A I 注意銘柄グラフの頒布価格について …………… 77

1. データスリップの作り方 …………… 77
2. データスリップのコピー …………… 78
3. 注意銘柄グラフのコピー …………… 79

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年4月 …………… 80

1. 4月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 80
2. 選定銘柄が増加したが、手持ちを多くしないように …… 82
3. 総会は8月4日。実践要領を主に …………… 82
4. 注意銘柄、○印、◎印について …………… 83
5. 6月に銘柄入れ替えを実施 …………… 83
6. 特訓グループの方たちへ …………… 83

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年5月 …………… 84

1. 5月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 84
2. 新しい方式になれるには1年かかる …………… 85
3. 6月9日の委員会は1日ばかり …………… 86
4. 8月4日の総会で体験発表を …………… 86
5. 24銘柄「特訓グループ」で月11%の利益 …………… 86
6. 定められた用具の整備を …………… 87

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985 年 5 月 88

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985 年 6 月 91

1. 6月の買い銘柄および注意銘柄 91
2. 検討は実りあるものだった 93
3. 部外者でも成果をあげている 93
4. 特訓グループは5月3.8% 94
5. データスリップの整備を忘れずに 95
6. 8月4日の臨時総会 95
7. 実践要領で不明な点は質問を 95

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985 年 7 月 96

1. 7月の買い銘柄および注意銘柄 96
2. 目標達成銘柄続出。メンバーの成績順調 97
3. F A I 選定銘柄以外に手を出さないこと 97
4. わずかな配当を取ろうとするな 98
5. 8月4日の総会は基本事項のみ 99
6. 手持ち銘柄数は24以下 100
7. 会報に体験発表を 100

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985 年 7 月 101

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年8月	104
1. 8月の買い銘柄および注意銘柄	104
2. 安全を第一に	105
3. 他人を頼らず実行力をつけよ	106
4. 総会における特訓グループの報告	106
5. 変動感覚をとり戻すには「売り」から	107
6. 規定を守ることが何より大切	107
7. 資金に相当な余裕を持つ	108

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年9月	109
1. 9月の買い銘柄および注意銘柄	109
2. 10月～年末は証券会社の営業攻勢が強まりそう	110
3. 買い直し銘柄にも気を配る	111
4. 特訓グループ8月の成績と、その他の注意事項	111
5. 年末まで気を引きしめて	112

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985年9月	114
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年10月	117
1. 10月の買い銘柄および注意銘柄	117
2. 高値づかみなどの「しこり玉」の処理について	118

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

3. 特訓グループは9月の利益率が低下	119
4. 銘柄選定委員改選について	120
5. メンバー以外の方でメンバーをしのぐ方も	120
6. 証券会社の営業攻勢に負けないように	121

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年11月	122
1. 11月の買い銘柄および注意銘柄	122
2. 原点に戻るべきである	123
3. 特訓グループでは2名脱落	124
4. 努力なしに上達はなく、上達なしに利益はない	126

◎ F A I 選定銘柄リスト

1985年11月	127
-----------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1985年12月	130
1. 12月の買い銘柄および注意銘柄	130
2. 依頼原稿を書いたが、掲載をことわられた	131
3. 久保田氏が労作を披露	132
4. 特訓グループは最悪期を脱したが	132
5. 1月の委員会は銘柄入れ替え	133

第3章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1986年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年1月	136
1. 1月の買い銘柄および注意銘柄	136
2. F A I 総会は7月20日	137
3. 1985年の成績をお知らせいただきたい	138
4. 特訓グループの成績	138
5. 9年間の波動の平均は59.6日	139
6. ◎印は年間で32銘柄	139
7. 特訓グループのリーダー佐久間氏脱退	140
8. 場帳・玉帳用紙を値上げ	140

◎F A I 選定銘柄リスト

1986年1月	141
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年2月	143
1. 2月の買い銘柄および注意銘柄	143
2. 7936 アシックスはもう少し動きをみて	144
3. 特訓グループは好転をみせる	145
4. 1985年の最高成績は126%	145
5. データバンクの端末を入れないこと	146

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年3月	147
1. 3月の買い銘柄および注意銘柄	147
2. 新規注意銘柄候補は多かったが	148
3. 特訓グループは成績良好	149
4. 資金に余裕ができてよい	150
5. 沖縄の証券会社社長の来訪	150
6. アメリカでは38.9%が最高	151

◎ F A I 選定銘柄リスト

1986年3月	152
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年4月	154
1. 4月の買い銘柄および注意銘柄	154
2. 上げ途中でも◎に	156
3. 1月除外銘柄で100円以上の上昇は6銘柄	156
4. 特訓グループはいよいよ卒業	157
5. 銘柄選定委員募集	157

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年5月	158
1. 5月の買い銘柄および注意銘柄	158
2. ◎印は2～5月で14銘柄	159

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

3. 独学の欠点と弊害について	160
4. メンバーの西垣広幸氏が本を出版	161
5. 7月20日総会の予定演題	161
6. 常任の選定委員に今井氏	162

◎ F A I 選定銘柄リスト

1986年5月	163
---------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年6月	165
---------	-----

1. 6月の買い銘柄および注意銘柄	165
2. 「会社情報」夏号は6月16日発行	167
3. データスリップ整備は基礎となる	167
4. 1口座で月20%の利益率の新記録	167
5. 某社の電報会員募集はF A I と無関係	168
6. 7月20日、F A I 総会	168
7. 6月でF A I 発足1年半	169

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年7月	170
---------	-----

1. 7月の買い銘柄および注意銘柄	170
2. 新聞には良い一面しか書かれない	172
3. 標準波動の実証	173
4. 西垣氏の代わりに野本氏	173

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

- 5. 総会当日の飛び入り講演歓迎 174
- 6. 株の本を書く人いませんか? 174

◎ F A I 選定銘柄リスト

1986年7月 175

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年8月 178

- 1. 8月の買い銘柄および注意銘柄 178
- 2. 出席者は多かったが 179
- 3. いい加減な研究会もある 180
- 4. 3段上げはグラフをみて 180
- 5. 旭洋子さんが著作に着手 181

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年9月 182

- 1. 9月の買い銘柄および注意銘柄 182
- 2. ◎印は、2～8月で36銘柄 183
- 3. 「会社情報」は本日発売だが 183
- 4. F A I の基本的な考え方の本が出た 184

◎ F A I 選定銘柄リスト

1986年9月 185

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年10月	187
1. 10月の買い銘柄および注意銘柄	187
2. F A Iクラブ発足以来、最大の下げ	188
3. 全銘柄を処分して、持ち株をゼロにした方もいる	188
4. 2倍にならないうちに天井をつけたおそれのある銘柄	189
5. 8月、9月の○印はいぜん有効	189
6. 機械株などに近く底入れが	190
7. 旭さんの本の原稿出来上がる	190

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年11月	191
1. 11月の買い銘柄および注意銘柄	191
2. 9月、10月の下げの被害は少ない	192
3. 投資顧問業法の余波	193
4. 低位株の銘柄数の統計	193

◎ F A I 選定銘柄リスト

1986年11月	194
-----------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1986年12月	196
1. 12月の買い銘柄および注意銘柄	196
2. 自殺者も多いといわれるが	197

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

3. 株式の重複売りの有利さ、優良株買いの不利 …………… 197
4. 低位株銘柄数の 11 年間の統計 …………… 198

第 4 章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1987年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987 年 1 月 ……………	202
1. 1月の買い銘柄および注意銘柄 ……………	202
2. 要注意 8 銘柄はこれから 3 月までが山 ……………	203
3. 投資顧問も特色を持っている ……………	204
4. 旭さんの本は 3 月中旬か下旬発行 ……………	204

◎ F A I 選定銘柄リスト

1987 年 1 月 ……………	205
-------------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987 年 2 月 ……………	207
1. 2月の買い銘柄および注意銘柄 ……………	207
2. 三雲氏が「堅い利益の積み重ね」を強調 ……………	208
3. 「売り」の研究が流行だが ……………	209

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年3月	210
1. 3月の買い銘柄および注意銘柄	210
2. 金融機関の持ち株売却に過剰反応しないように	211
3. F A I 選定銘柄の「買い」について	213

◎ F A I 選定銘柄リスト

1987年3月	213
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年4月	215
1. 4月の買い銘柄および注意銘柄	215
2. 市場は活況だが儲けている人は少ない	216

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年5月	217
1. 5月の買い銘柄および注意銘柄	217
2. 旭洋子さんの本、売行順調	218
3. 市場は元に戻るのではないか	218
4. 二極分化の感じがする	219
5. 6月7日の総会	219

◎ F A I 選定銘柄リスト

1987年5月	220
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年6月	222
1. 6月の買い銘柄および注意銘柄	222
2. 日本証券決済株の持ち株が大きく移動	223

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年7月	226
1. 7月の買い銘柄および注意銘柄	226
2. 旭さんの本は好評	227
3. 他の投資顧問、グループは内紛多発	227

◎ F A I 選定銘柄リスト

1987年7月	228
----------------------	-----

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年8月	230
1. 8月の買い銘柄および注意銘柄	230
2. 銘柄選定基準の価格上限について	231
3. 月足において、上昇途上の集合形はない	231

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年9月	232
1. 9月の買い銘柄および注意銘柄	232
2. タテホ化学の蹉跌は他山の石	233

3. 「会社情報」秋号では、日本証券決済(株)新規銘柄なし… 234

◎ F A I 選定銘柄リスト

1987年9月 …………… 235

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年10月 …………… 237

1. 10月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 237
2. 銘柄選定委員募集 …………… 238
3. 抜けがらになった社長の話 …………… 238
4. 手間を省く人に苦言を呈す …………… 239

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年11月 …………… 240

1. 11月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 240
2. 迷いの投資家は地獄 …………… 241
3. 全持ち株を売却した方もいる …………… 242

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1987年11月 …………… 243

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1987年12月 …………… 245

1. 12月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 245

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

2. 1987年のF A I 選定銘柄の下げは1986年の約半分 … 246
3. 特訓3期生の成果あがる …………… 246
4. 総会にみなさんの研究発表を …………… 247

第5章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1988年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年1月 …………… 250

1. 1月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 250
2. 報告のあった利益率最高は166% …………… 251
3. 典型的な3段上げ銘柄の統計 …………… 251
4. 1株当たり純資産増加銘柄リスト …………… 252
5. 値嵩銘柄にも日本証券決済(株)があらわれてきた …………… 252

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1988年1月 …………… 254

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年2月 …………… 256

1. 2月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 256
2. 地味な売買を続けなければ …………… 257

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年3月 259

1. 3月の買い銘柄および注意銘柄 259
2. 「エコノミスト」に旭洋子さんの投資論 260
3. 事務所来訪者の成功失敗が両極端 260
4. 「会社情報」春号による日本証券決済(株)持ち株調査 ... 261

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1988年3月 262

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年4月 264

1. 4月の買い銘柄および注意銘柄 264
2. 初歩のことが確実にできるように 265
3. 参考銘柄は2つ 266

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年5月 267

1. 5月の買い銘柄および注意銘柄 267
2. 生保の一部が消極姿勢に転ずる 268
3. 5月は上げの6カ月目 268
4. 特訓コース成績良好 269
5. F A I 総会に研究発表を 269

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1988 年 5 月 270

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988 年 6 月 272

1. 6月の買い銘柄および注意銘柄 272
2. 投資グループ崩壊の時期 273
3. カラ売りの研究開始 (カラ売りの研究1) 274
4. 9月の F A I 総会での研究発表募集 274

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988 年 7 月 275

1. 7月の買い銘柄および注意銘柄 275
2. 買うものがなくなったら休み 276
3. 「会社情報」夏号によるピックアップリスト 276
4. カラ売りのむずかしさ (カラ売りの研究2) 277

F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1988 年 7 月 279

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988 年 8 月 281

1. 8月の買い銘柄および注意銘柄 281
2. 今月も売買は消極的に 281

3. カラ売りの有利さについて（カラ売りの研究3） …… 282

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年9月 …… 284

1. 9月の買い銘柄および注意銘柄 …… 284
2. 警戒論がみられるが …… 285
3. 投資家の持ち株は高値買い傾向 …… 285
4. 天井ピークは1988年1～6月 …… 286
5. カラ売り3分割は平均値を上げる（カラ売りの研究4）… 286

◎ F A I 選定銘柄リスト（選定時価格）

1988年9月 …… 287

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年10月 …… 289

1. 10月の買い銘柄および注意銘柄 …… 289
2. 集中教育を受けたファンド・マネジャー …… 290
3. 「会社情報」秋号の日本証券決済株の新規は2銘柄 …… 291

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年11月 …… 293

1. 11月の買い銘柄および注意銘柄 …… 293
2. 株式市場の警戒論の弁解 …… 294
3. やはり安心買いではない …… 294

4. グラフ用紙を折らない整理法 295

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1988年11月 296

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1988年12月 298

1. 12月の買い銘柄および注意銘柄 298
2. 慎重さを失わないように 298
3. 1988年の◎印は28銘柄 299
4. 何段上げかの考察 300

第6章 | F A I 選定 買い銘柄および注意銘柄 1989年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989年1月 304

1. 1月の買い銘柄および注意銘柄 304
2. 持ち技を生かそう 305
3. 買い直し銘柄の選定は困難 305
4. やはり原則論を守るべきだ 306
5. 研究テーマを募集 306

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1989 年 1 月 307

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989 年 2 月 309

1. 2月の買い銘柄および注意銘柄 309
2. F A I の売買は上達の基本である 310
3. 玉帳の分析 310

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989 年 3 月 312

1. 3月の買い銘柄および注意銘柄 312
2. 高止まりなので休むのもよい 313
3. 玉帳を分析すると、売買の特長がわかる 313
4. 売り銘柄選定のチェックリスト 315
5. 30項目の「売りのルール」? 316

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1989 年 3 月 317

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989 年 4 月 319

1. 4月の買い銘柄および注意銘柄 319
2. ファンド・マネジャーでも分割買い 320

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

- 3. 銘柄をしぼって売買 320
- 4. ルールの解釈を討論 321
- 5. 参考銘柄 3521日本レース 321

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

- 1989年5月** 322
 - 1. 5月の買い銘柄および注意銘柄 322
 - 2. 200億円特金の持ち株一覧 323
 - 3. 資本金 300 億円でも 3 段上げが多い 324
 - 4. 日本証券決済株の新規は 5 銘柄 325
 - 5. ルール検討は来月から 325

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

- 1989年5月** 326

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

- 1989年6月** 328
 - 1. 6月の買い銘柄および注意銘柄 328
 - 2. 売り銘柄としての新日鉄 328
 - 3. ルールの改良と作成 329

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

- 1989年7月** 331
 - 1. 7月の買い銘柄および注意銘柄 331

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

2. 知らないうちに株価が5分の1になった銘柄もある…… 331
3. 日本証券決済(株)再登場もある …………… 334

日本証券決済(株)持ち株調査

1989.6.18 「会社情報」'89～Ⅲ・夏号 …………… 335

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1989年7月 …………… 337

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989年8月 …………… 339

1. 8月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 339
2. 信用の膨張が加速 …………… 340

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989年9月 …………… 342

1. 9月の買い銘柄および注意銘柄 …………… 342
2. 極洋は37カ月間の高値往来 …………… 343
3. この1カ月、暗いウワサが多い …………… 343
4. うちの会員だけは損のないように …………… 345
5. 下げている銘柄リストの続き …………… 346

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1989年9月 …………… 347

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989年10月	349
1. 10月の買い銘柄および注意銘柄	349
2. 証券会社の営業攻勢激化	350
3. カラ売りは逆日歩に注意	350
4. 数えてみないと思いを違える	351
5. いろいろなりリストを作ろう	352

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1989年11月	353
1. 11月の買い銘柄および注意銘柄	353
2. 投資サギが流行か?	354
3. ワラント投資は危険	354
4. チェックリストの多様化	355

◎ F A I 選定銘柄リスト (選定時価格)

1989年11月	356
あとがきに代えて	358

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

第1章 | F A I 選定
買い銘柄および注意銘柄

1984年

F A I 選定 買い銘柄・注意銘柄

1984年3月～7月

1. 3～6月の買い銘柄および注意銘柄

6月3日の研究会は小さい部屋を予約した（申し込みは少ないと思った）が、あまりに申し込み多数だったため、2回目を7月22日に行った。

F A I 投資法については7月号から連載することになったが、今回はとりあえず、現在注目すべき銘柄を列挙する（36ページ表A）。また、本年3月以降の買い選定銘柄をお知らせしておく（37ページ表B）。

特に3月以降の買い銘柄は、選定したあとからジリジリと高く、F A I 投資法の優秀さに驚かされたはずである。

なお、6月3日の研究会で配布したものは、注意銘柄リストと5月までの買い選定銘柄のリストであり、6月選定銘柄は6月21日に手紙でお知らせした。

[このコンテンツは著作権法で保護されています]

また、6月3日に出席できず、やむなく7月22日に申し込んだ方から、たくさん質問の電話があり、いちいちお答えしていたのではわずらわしいから、6月27日に、6月の買い選定銘柄を含むリスト（表B）をお送りした。

もちろん、この買い選定銘柄リスト（表B）はいまでも有効であり、まだまだ買ってよい銘柄である。

注

1. 表Aは、6月3日に配布したものに6月21日に選定した注意銘柄を加えてある。また、この中から表Bの買い選定銘柄に移行したのも除いていない。
2. 昨年（1983年）から、依然として注意銘柄として持続されているものもある。
3. 表Bは、すべて前月の月足を引いてから選定。また6月は、6月18日発行の「会社情報」を検討してから選定したものである。

表A 注意銘柄リスト

1503	住友石炭	5478	日本ステンレス
1883	前田道路	5479	日本金属
2004	昭和産業	5562	日本重化学
2109	三井製糖	5734	昭和アルミ
2604	吉原製油	5972	日本建鉄
2801	キッコーマン	5991	日本発条
3115	帝国産業	6011	新潟鉄工
3551	ダイニック	6203	豊和工業
4002	日東化学	6317	北川鉄工
4021	日産化学	6331	三菱化工機
4022	ラサ工業	6332	月島機械
4042	東洋ソーダ	6362	石井鉄工
4208	宇部興産	6369	トーヨーカネツ
4403	日本油脂	6921	東光電気
4611	大日本塗料	7102	日本車輛
4996	クミアイ化学	7104	富士車輛
5192	三星ベルト	7122	近畿車両
5232	住友セメント	7123	東急車輛
5269	日本コンクリ	8202	東京日産販売
5363	東京窯業	8804	東京建物
5391	朝日石綿		

表B

買い銘柄 (○印にする)

3月

- 3115 帝国産業 170 (2月終値)
- 4002 日東化学 202 (3月1日)

4月

- 7210 日産ジーゼル 255 (4月2日)
- 4403 日本油脂 358 (4月2日)
- 5991 日本発条 354 (4月2日)

買い直し銘柄 (○印にする)

5月

- 2604 吉原製油 買い増し、買い直し

買い銘柄 (○印にする)

6月

- 6331 三菱化工機 266 (6月1日)

新規注意銘柄 (無印)

- 5232 住友セメント 注意銘柄に加える
- 5363 東京窯業 注意銘柄に加える

2. 7月の買い銘柄および注意銘柄

買い直し銘柄（○印にする）

	7/1	7/6
○ 2004 昭和産業	246	245
○ 4002 日東化学	285	349
○ 4021 日産化学	278	286
○ 4022 ラサ工業	266	298
○ 4208 宇部興産	210	218

買い銘柄（○印にする）

	7/1	7/6
○ 4614 東亜ペイント	245	247
○ 7961 日産農林	272	270

注

なお、ラサ工業、宇部興産、住友セント、日本コンクリートの4銘柄は、セメント関係が上向けば大きく上げる可能性がある。